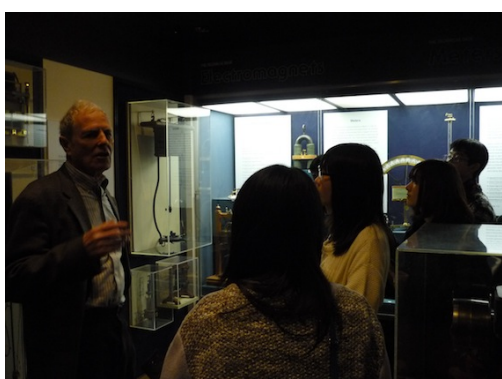


<第一日目> (現地時間 ; 1月5日)

日本時間朝8 : 45に成田空港集合場所にて、参加生徒および教員16名が無事に集合。予定通り11 : 05分発の飛行機で約12時間時間のフライトを経て、現地時間9時過ぎに米国ワシントンダレス空港に到着。

スミソニアン国立アメリカ博物館 :

館内のカフェで昼食を取り、午後1時半から、バーナード・フィン博士によるエジソンのフィラメントの研究について解説をして頂いた。生徒達は長時間の移動もあり疲れが見えていたが、博士の説明を熱心に聞き、積極的に質問をする姿も見られた。博士からは、スミソニアン博物館の概要と見学のポイントなどについてもお話を頂いた。その後1時間ほどの自由行動で、館内を自由に見学した。



<第二日目> (現地時間 ; 1月6日)

(AM) トーソン大学ローナー研究所 (DNA 抽出実験) :

担当の先生からの簡単な講義の後、実験室に移動して果物と生徒自身の DNA を採取する実験を行った。デモンストレーションを交えながら説明して下さったので、生徒にも分かり易かったようだった。自分の DNA は最後ペンダントにして持ち帰ることができ、生徒にはよいお土産になったと思う。



(PM) NASA ゴダード宇宙飛行センター :

移動車内で昼食を取り、午後1時過ぎに NASA ゴダード宇宙飛行センターに到着。まず、ガイドの方にセンター内の赤外線観測衛星 James Webb 望遠鏡を制作している場所と、衛星の実験場を詳しく案内して頂き、生徒達は興味深く説明を聞いていた。次に Visitor センターにて、様々な観測データから、地球の大気や海流、気温や光などなどを実際の地球を再現した球体にホログラムして写す装置を見学した。最後にゴダード宇宙センターで働く日本人研究者の方々にお話を伺う機会があり、研究内容についての説明を伺った。実際に NASA で働く方々を目の当たりにして、生徒達からはどの様にして NASA で働くようになったのかなどの質問が出て、非常に刺激を受けたようであった。



<第三日目> (現地時間 ; 1月7日)

トーマスジェファーソン高校 :

TJ校は朝から2時間遅れの時間割となったため、生徒は朝食後に発表練習する時間が取れた。9時半過ぎにTJ校に到着。生徒および教員全16名に一人ずつバディの生徒が付き、皆ばらばらに授業見学を行った。

お昼ご飯は大谷先生の日本語クラスで皆でサンドウィッチを食べる。午後、日本語クラスの授業と生徒のプレゼンテーション&ポスター発表があった。授業短縮があった関係で、プレゼン&ポスター合わせて50分という短い時間の中、生徒達は用意してきたプレゼンテーションを行った。ポスター発表は10分程度しか時間がなかったが、TJの生徒はそれぞれ興味のある発表を聞きにきてくれ、生徒達も積極的に説明したり質問を投げかけたりして交流していた。また、聞きにきてくれた人に名刺を渡すなどして、今後の交流にもつなげようと努力が見られた。短い時間ながらよく頑張っていたと思う。生徒達は発表が終わってホッとしたようだった。



<第四日目> (現地時間 ; 1月8日)

(AM) スミソニアン博物館ウドバーハジーセンター :

ウドバーハジーセンターは、航空機から宇宙船まで航空宇宙に関する展示がしてあり、1時間ほどガイドさんの案内で見学した。何度も宇宙に行ったというスペースシャトル Discovery を見ることができ、その大きさと共に、傷だらけの機体からはさまざまな苦勞と歴史が感じられた。また、日本に原爆を落としたエノラゲイ戦闘機や、エアフランスの音速旅客機が印象的だった。ガイドの方は「エノラゲイが原爆を落としたことで、戦争が終わり、無駄な命が失われずに済んでよかった」とおっしゃっており、生徒は何か感じたのではないのでしょうか。



(PM) スミソニアン自然史博物館、航空宇宙博物館 :

フードコートで昼食をとり、その後自由行動で博物館2つを見学した。2人以上で行動するよう指示。自然史博物館では、有名なホープダイヤモンドやタランチュラ、様々な動物の剥製や骨、人間のミイラ、恐竜の化石、人類の進化の歴史、海洋生物、岩石やクリスタル、宝石の展示などなどゆっくり見ているのは数日かかるほど色々な展示があった。各自で徒歩5分ほどの場所にある航空宇宙博物館に移動し、ここも自由行動で見学。初めて月面着陸をしたアポロ号や、最初の飛行を行ったライト兄弟の展示、宇宙の探求、天体観測の歴史と最新のプロジェクトなどを見ることができた。

